

令和8年度
千葉大学大学院教育学研究科
一般選抜学力検査問題

学校教育学専攻
教育発達支援系
特別支援問題群

選 択 科 目	
共通問題	1 ページ～2 ページ
選択問題	3 ページ

【 注 意 事 項 】

1. 「解答始め」の合図があるまで、この冊子を開いてはいけません。
2. この冊子は、表紙を除いて3ページです。選択科目が印刷されています。
3. 試験時間は、10:00～12:00です。
4. 解答用紙は4枚です。すべての解答用紙の所定欄に受験番号を必ず記入すること。記入漏れの解答用紙は採点できないことがあります。
5. 共通問題は、受験生すべてが解答すること。
6. 選択問題は、選択問題に示された(1)から(8)の8問のうち4問を選び、解答すること。解答用紙所定の欄に、解答した問の番号を記入すること。記入漏れの解答用紙は採点できない場合があります。
7. 解答用紙は、持ち帰ってはいけません。
8. 問題冊子は、持ち帰ることができます。

学校教育学専攻 教育発達支援系 特別支援問題群

選択科目 共通問題

問題1 次の問いに答えなさい。(100点)

以下は、国連障害者権利委員会から日本政府への勧告(2022年9月9日)の日本語仮訳の抜粋です。「医学モデル」と「機能障害」について説明した上で、日本で「障害認定及び手帳制度を含めた障害の医学モデルの要素を排除」した場合の利点と欠点について、あなたの考えを述べなさい。

8. 委員会は、締約国に対して以下を勧告する。

(b) 障害認定及び手帳制度を含め、障害の医学モデルの要素を排除するとともに、全ての障害者が、機能障害にかかわらず、社会における平等な機会及び社会に完全に包容され、参加するために必要となる支援を地域社会で享受できることを確保するため、法規制を見直すこと。

出典：国連障害者権利委員会「日本の第1回政府報告に関する総括所見」(仮訳)
外務省ホームページより

https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/jinken/index_shogaisha.html

学校教育学専攻 教育発達支援系 特別支援問題群

選択科目 共通問題

問題2 次の英文を和訳しなさい。(60点)

著作権保護の観点から、公表していません

出典 : Schiltz, K., L., Schonfeld, A., M., & Niendam, T. A. (2012) Beyond the label – A guide to unlocking a child's educational potential. pp.129-130.

学校教育学専攻 教育発達支援系 特別支援問題群

選択科目 選択問題

問題1 次の用語群から4問を選択して意味を説明しなさい。なお、選択した語句の番号を、各解答欄内左上部の()に必ず記入すること。解答の順序は問わない。
(40点)

- (1) 情動調整
- (2) 偏差知能指数
- (3) 強化スケジュール
- (4) ADD (Attention Deficit Disorder)
- (5) アダプテッド・スポーツ
- (6) 2E 教育
- (7) 特別支援学校のセンター的機能
- (8) 吃音

教育発達支援系特別支援問題群

選択科目
選択問題

受験番号	E1M -
------	-------

選択問題 合計得点	
--------------	--

問題 1

得点	
----	--

()

()

教育発達支援系特別支援問題群

選択科目
選択問題

受験番号	E1M -
------	-------

問題 1

得点	
----	--

()

()